

解答例

問1

- 1) 図1にある日本における4つの分野のサブ指数からGGIを算出し、表1の(A)の値を答えなさい。

答え (0.663)

- 2) 図1及び表1に示されているGGIのグラフと表からわかることについて、正しいものを2つ選びなさい。

- (ア) 日本において男女間の格差はほとんどみられない。
(イ) 日本において経済参画のサブ指数は0.8以上である。
(ウ) 日本において教育のサブ指数は0.9以上である。
(エ) 日本において政治参画のサブ指数は0.5を下回っている。
(オ) 日本のGGIは上位10か国以内に入っている。

答え (ウ) (エ)

- 3) 日本における男女別高等学校進学率(%)の推移を表2に示す。昭和25年度時点の女子の高等学校進学率を答えなさい。

答え (36.7) %

- 4) 表2の高等学校進学率について、男女差が昭和25年度時点のものと令和5年度時点のものとの何ポイント差があったのか、それぞれ計算し答えなさい。

答え 昭和25年度時点 (11.3) ポイント

答え 令和5年度時点 (0.9) ポイント

問2

- 1) A高校が男女別定員を維持する場合、合格するためには女子は何点以上、男子は何点以上の点数を取る必要があるか。表3を見て答えなさい。

答え 女子 (812) 点

答え 男子 (803) 点

2) もしA高校が男女別定員を撤廃すると合否の状況はどのようなになるのか。表3の中で1位の例を参考に、2位～40位までの点数を○をで囲みなさい。

表3 A高校入学試験における受験者の状況

性別毎 の順位	女子 点数	男子 点数
1	835	818
2	834	817
3	833	816
4	832	815
5	830	815
6	829	814
7	828	813
8	827	812
9	825	811
10	824	811

性別毎 の順位	女子 点数	男子 点数
11	823	810
12	822	809
13	820	808
14	819	807
15	819	807
16	817	806
17	815	805
18	814	804
19	813	803
20	812	803

性別毎 の順位	女子 点数	男子 点数
21	810	802
22	809	801
23	808	799
24	807	798
25	805	797
26	804	796
27	803	796
28	795	795
29	794	794
30	793	793

性別毎 の順位	女子 点数	男子 点数
31	792	792
32	790	791
33	789	790
34	788	789
35	787	787
36	785	787
37	784	786
38	783	785
39	782	784
40	780	783

問3 問2を通じて「教育」においても男女格差を解消するために試行錯誤が必要であったことを確認した。

図1で示されていた日本のGGIにおいて低値を示す「経済参画」の問題を解消するためにはどのような対策が必要なのだろうか。また、その対策によって生じるデメリットは何だろうか。

以下のキーワードを1つ以上用いて、具体的な方法の提案とそのデメリットを述べ、理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。また、すべてのキーワードを用いる必要はありません。

キーワード

女性の正規雇用枠の増加 賃金格差の解消 女性管理職枠の増加
 男性の育休取得者の増加 男性の家事・育児参加